



量子コンピューティングセンター

IBM Q Hub @ Keio University

慶應義塾大学 量子コンピューティングセンター (KQCC) は、IBMの量子コンピュータ実機「IBM Q」のクラウドを利用できるハブです。慶應義塾大学の教員や学生、IBMの研究員、参画企業の研究員が連携しながら量子コンピューティングソフトウェアの開発を推進しています。



KQCCの外観

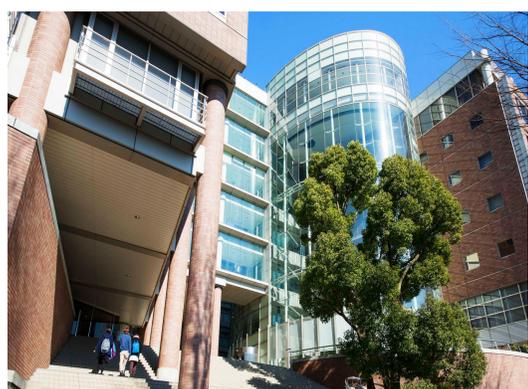


コモンルーム



セミナーの様子

矢上キャンパスから65量子ビットのIBM Qマシン (@NY) にリモートアクセスすることができます。



慶應義塾大学 矢上キャンパス

リモートアクセス

プログラミングGUI

量子情報ソフトウェア開発キット

クラウド量子計算

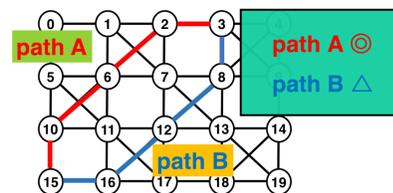
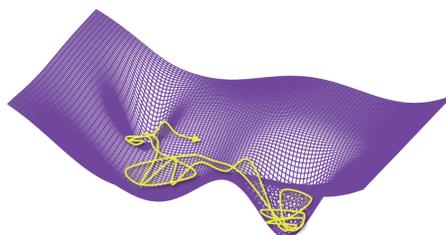
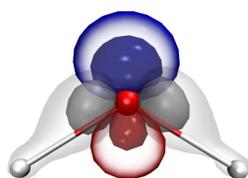
リモートアクセス



© IBM Corporation

量子コンピューター実機 IBM Q @IBMワトソン研究所(NY)

量子化学計算、最適化問題、暗号分野、AI応用などの実問題に、量子コンピュータで取り組み、“Quantum Advantage”の時代に備えています。また、量子コンパイラのような量子ミドルウェアを含む量子アーキテクチャの研究も行なっています。



来たるべき“Quantum Advantage”時代を先導する“Quantum Native”になるための人材育成をしています。その一環として、KQCCの教員がFutureLearnを通じてオンライン講義を発信しています。

<HP QRコード>



お問合せ先 **Keio Quantum Computing Center** のホームページ <https://quantum.keio.ac.jp/>よりお問い合わせください。